

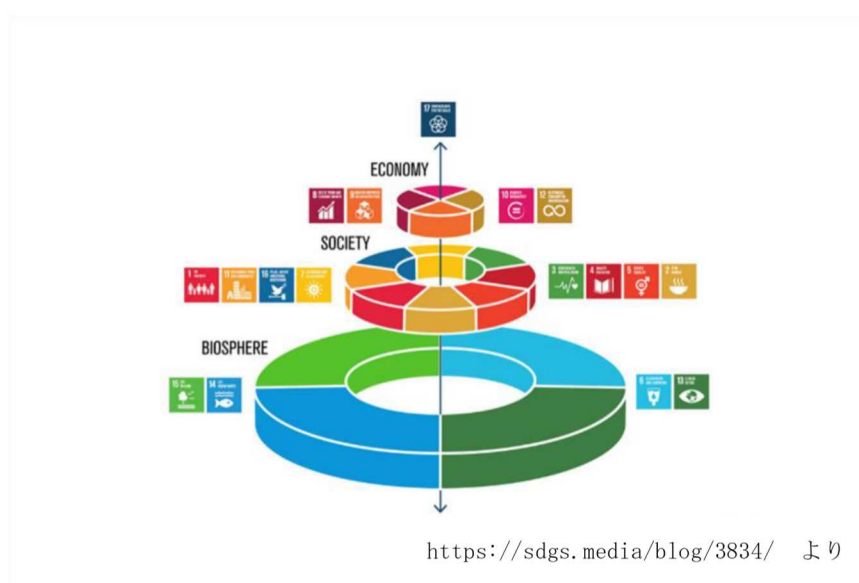
2023 年度「日本語・日本文化研修留学生」「国際交流協定に基づく特別聴講学生」の皆さんへ

日本語・日本文化研修留学生、及び国際交流協定に基づく特別聴講学生（交換留学生）の皆さん、このたび無事、奈良教育大学での学業を終了されたことに対し、心よりお祝い申し上げます。

先ほどラーニングコモンズで行われた研究成果発表会を拝見し、大変感動しました。自分が興味を抱いたテーマに取り組み、努力を重ねて成果を得たこと、そして私たちにそれを堂々と日本語で語ること、そのどれをも楽しみながら、誇らしく成し遂げたことに、私は嬉しく、心からの敬意を表します。

さて、話はがらりと変わりますが、皆さんのお国のウェディングケーキって、どういうものですか？調べてみると、よく見かける3段重ねのものは、イギリスの伝統的なウェディングケーキのようです。その一番上の段は、結婚式の時には食べずにとっておき、結婚1周年や子どもが生まれた時に食べるもの。2段目は、披露宴（レセプション）の欠席者に贈るもの。一番下の段は、出席者と分かち合って食べるものだそうです。

では、「SDGs ウェディングケーキモデル」ってご存知ですか？（以下の図を提示）



SDGs (Sustainable Development Goals) はご存知だと思いますが、その17の目標を、3つの構造（3層構造）で表したモデルです。ストックホルムにあるレジリエンス研究所のヨハン・ロックストローム (Johan Rockström) 博士が考案したものです。

その一番下の層は「生物圏」(Biosphere)、真ん中の層が「社会圏」(Society)、そして一番上の層が「経済圏」(Economy) となっています。

一番下の層には、「目標6. 安全な水とトイレを世界中に」や「目標13. 気候変動に具体的な対策を」など、4つが置かれています。

真ん中の層には、「目標 1. 貧困をなくそう」や「目標 4. 質の高い教育をみんなに」など、8つが置かれています。

一番上の層には、「目標 8. 働きがいも経済成長も」や「目標 10. 人や国の不平等をなくそう」など、4つが置かれています。

このような3層のモデルで表したことの意味は、「持続可能な開発とは、『環境（生物）』、『社会』、『経済』の3つの分野がそれぞれ互いに関わり合って、実現されるものである」ということです。

そしてもう一つ、ウェディングケーキモデルの一番上に、旗のように立っているものがありますね。。それが、「目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう」です。

持続可能な社会とは、私たち人間だけにとって幸せが続く社会になればよい、ということではありません。人間が生きる社会も平和であり、そしてその根底にある環境、地球に住む動物も、植物も、またそこにある空気も、水も、地球に存在する（もしかしたらこれからは宇宙？）あらゆるものが、美しく、幸せで、平和で、かつそれらがいつまでも続くために、私たちは努力しなければなりません。

皆さんの母国においては、それぞれ17の目標のうち達成できているものや、できていないものが異なると思います。しかし、どの目標にも対しても共通して言えることは、全世界の人々がパートナーシップを組んで取り組み、持続可能な社会をつくり上げていくことだと思います。

ご承知のように、奈良教育大学はユネスコスクールです。

ユネスコスクールとは、「ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校」です。また、その目的は、「世界中の学校と生徒間・教師間の交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと」、「地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと」とされています。

皆さんが、ユネスコスクールに在籍したこと、そして、日本の伝統的な文化遺産が豊富にある古都奈良で学んだこと、この2つを誇りとして、それぞれの国でSDGsの達成に貢献してください。

もちろん、皆さんと私たちは、これからそれぞれ離ればなれになっていきますが、「目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう」、これを忘れずに、これからもパートナーとして、ともに地球の平和や幸せが持続可能にするために、繋がっていきましょう。

私も学長として、皆さんがいてくれた奈良教育大学をいつまでも発展し続けるよう努力しますので、どうか世界から見守っててください。これは私からのお願いです。

今度は、いつか皆さんの母国でお会いしたいと思います。その時はどうか元気で活躍している姿を見せてください。

これをもって、お別れの言葉、いやそうではなく、皆さんとともに新たなこれからの一步を踏み出す「始まりの言葉」といたします。

2023年8月3日

国立大学法人奈良国立大学機構 奈良教育大学 学長 宮下 俊也